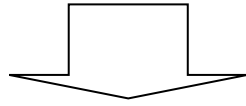


| | 育てたい力 | 具体的な授業改善策 |
|------|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 内容理解、登場人物の心情理解をすること。 話を集中して聞き、正しく応答すること。 経験したことや思ったことを、相手に正しく伝えること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○読むことの学習では、電子黒板でデジジー等の視覚的教材を活用する。段落ごとに区切りながら丁寧に読み進め、画像やテープサートを使い、心情理解を進める。 ○書くことについては、日記や行事について5W1H メモを作成し、文をまとめていくことを繰り返し学習していく。 ○聞くことについては、聞いて答えるような活動を増やし、聞くことに集中を促す。 |
| 生活単元 | <ul style="list-style-type: none"> ・理科的学習には、実験や体験型学習を、正しく結果を読み取ること。 ・社会的学習には、交流学級児童の意見を聞いて、自分の考えに取り入れたりすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○理科的学習では、児童の意欲を生かし、友達の意見を聞くことを教師が促し、板書の視写や器具等の操作は教師が支援していく。 ○社会的学習では、絵で表現したり、教師が絵を提示したりすることで理解の手助けをしていく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を取り入れながら、10までの加法、減法を用いることができること。 ・図形に親しむこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ブロック等の具体物を操作して、常に10のかたまりを意識した活動を繰り返し行う。また数詞や数字でも視覚的に覚えられるよう繰り返し学習していく。 ○実際の図形を用意し、操作することで理解を手助けしていく。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・見通しを立てイメージをもてるようにすること。 ・安全に気を付けて作業をすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○教師が事前に見本を作成し、それを見ることで、イメージをもたせ見通しを立てて活動を行う。場に応じ、手を添えてけがないよう安全に活動できるようにしていく。 |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・正しい運指で演奏すること。 ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しむこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○事前に楽譜と楽器に同じ色シールをはり、演奏の手助けをしていく。リコーダーの穴には、事前にパットをはり、穴を小さくして演奏しやすくする。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解して協力していくこと。 ・体力を養うこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○友達を模倣するよう声掛けしたり、友達に声掛けしてもらえるよう意図的に場を設定したりしていく。ルールは視覚的にホワイトボードを利用して示していく。 |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを言葉で表したり、相手の気持ちを理解したりすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の読み物教材を使い、劇をしたり、テープサートを操作したりすることで、登場人物の気持ちに寄り添うことができるようにしていく。自分ならどうするか選択肢を与えながら考えていく。 |
| 家庭科 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学習を通して学んだことを自分の生活に取り入れていくこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○教員用に大きな模型を用意し、視覚的に作業の手助けをしていく。家庭と連携し、家庭でも事前に練習してもらえよう声掛けしていく。 |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく活動し、外国語に親しむこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○全体指導での発語練習のとき、一緒に言えるよう教員と一緒に言ったり、言うように声掛けして促していく。 |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べてわかったことや体験したことを、自分の言葉で表現すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を事前に伝え、イメージしやすいように視覚的教材を用意する。 ○いくつかの選択肢の言葉から、選んで表現させていく。 |
| 学級経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流学級において多様な経験を積むこと。 ・自己肯定感を高め、自己表現していくこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○友達とたくさんの関わりがもてるよう、教員が場の設定をして適切な距離感をもって見守っていく。良い関わりができたときは、その場で褒めて達成感を感じさせていく。 |



| | 成果○ と 課題▼ |
|------------------|-----------|
| 国 語 | |
| 生 活 単 元 | |
| 算 数 | |
| 体 育 | |
| 道 徳 | |
| 総 合 | |
| 学 級 経 営 | |